

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【公開番号】特開2019-31686(P2019-31686A)

【公開日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-008

【出願番号】特願2018-193077(P2018-193077)

【国際特許分類】

C 08 F 4/54 (2006.01)

C 08 F 36/00 (2006.01)

C 08 F 4/606 (2006.01)

C 08 F 4/602 (2006.01)

【F I】

C 08 F 4/54

C 08 F 36/00 5 1 0

C 08 F 4/606

C 08 F 4/602

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月20日(2019.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

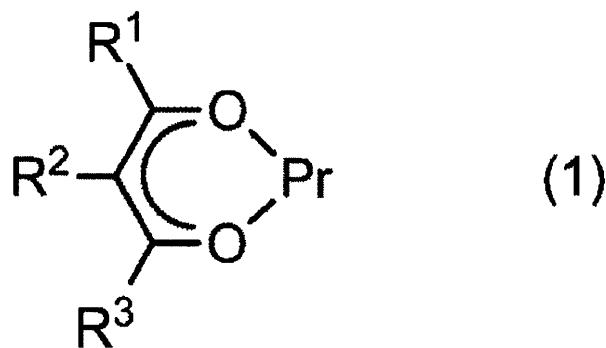
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)で表される嵩高い配位子を有するプラセオジム化合物(A)と、非配位性アニオンとカチオンとからなるイオン性化合物(B)と、周期律表第2族、12族及び13族から選ばれる元素の有機金属化合物(C)と、を備えたことを特徴とする共役ジエン重合用触媒。

【化1】



(但し、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>はそれぞれ水素、または炭素数1～12の置換基を表す。Oは酸素原子を表し、Prはプラセオジム原子を表す。)

【請求項2】

前記有機金属化合物(C)が有機アルミニウムであることを特徴とする請求項1に記載の共役ジエン重合用触媒。

【請求項3】

前記イオン性化合物(B)が含ホウ素化合物であることを特徴とする請求項1に記載の

共役ジエン重合用触媒。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれかに記載の共役ジエン重合用触媒を用いて共役ジエン化合物を重合させることを特徴とする共役ジエン重合体の製造方法。